# PICTURE TRANSMISSION SYSTEM AND ITS TERMINAL EQUIPMENT AND COMMUNICATION NETWORK MANAGING EQUIPMENT

Publication number: JP62194775

**Publication date:** 

1987-08-27

Inventor:

**MERA MITSURU** 

Applicant:

NIPPON ELECTRIC CO

Classification:

- international:

H04N1/32; G06F13/00; H04L13/00; H04L29/06; H04N1/00; H04N7/14; H04N1/32; G06F13/00;

H04L13/00; H04L29/06; H04N1/00; H04N7/14; (IPC1-

7): H04L13/00; H04N1/00; H04N1/32; H04N7/14

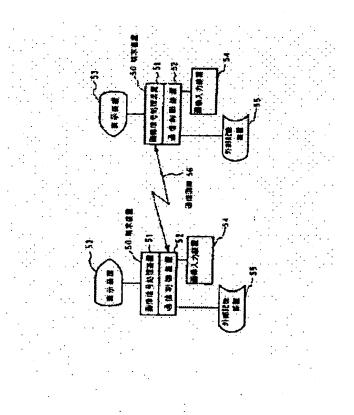
- european:

Application number: JP19860037018 19860220 Priority number(s): JP19860037018 19860220

Report a data error here

#### Abstract of JP62194775

PURPOSE:To send mutually a picture between terminal equipments having different display devices by applying a picture signal processing indispensable to mutual communication in matching with the characteristic of opposed terminal equipments and sending a picture signal to be sent in response to different items of mutual terminal equipment characteristic. CONSTITUTION:A terminal equipment 50 consists of a display device 53 and a picture signal processing unit 51 consisting of a magnifying device, a reducing device, a segmentation device, a converter of bit number per picture element, a scanning converter, a coder and a controller controlling each device. The picture processing unit is connected by a communication controller 52 to a communication line, the terminal equipment characteristic indispensable to the mutual communication, the picture signal processing unit 51 applies a picture signal processing indispensable to the mutual communication to the sent picture signal in the transmission and the received picture signal in the reception depending on the different items of the terminal characteristic.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

## ⑬ 日本国特許庁(JP)

10 特許出顧公開

# ④ 公開特許公報(A) 阳

昭62 - 194775

| @Int_Cl_4  | 識別記号  | 庁内整理番号  |      | 四公開 | 昭和62年(19 | 87) 8月27日 |
|--|-------|---|------|-----|----------|-----------|
| H 04 N 1/00<br>H 04 L 13/00<br>H 04 N 1/32<br>7/14 | 3 0 5 | C - 7334 - 5C<br>C - 7240 - 5K<br>Z - 7136 - 5C | •    |     | -        | <b>.</b>  |
| 7/14   |       | 8321-5C   | 春登請求 | 未請求 | 発明の数 3   | (全9頁)     |

**公発明の名称**画像伝送方式およびその端末装置と通信網管理装置

到特 顧 昭61-37018

❷出 顧 昭61(1986)2月20日

砂発 明 者 目 良 充 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

©出 駅 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

30代理人 弁理士内原 晋

#### 明相合

#### 発明の名称

賦像伝送方式およびその増来袋置と適信網管理袋 変

#### 特許請求の範囲

(1)増末関で関係信号を送信し、受信する顕像伝送方式において、相互の増末の表示装置の特性として、解像度、定金方式、断案当りのピット放、符号化方式を含む相互組信に不可欠な端末特性を識別し、その識別情報に従って、伝送すべき頭像信号を相手増末の特性に合わせて、相互通信に不可欠な顕像信号処理を相互の前記端末特性の異なる項目に応じて行い伝送することを特徴とする関係伝送方式。

(2)拡大装置、縮小装置、切り出し装置、頭索当りのピット数の変換装置、走変変換装置、符号化装置が並列に接続され、各装置を制御する制御装置より構成された画像信号処理装置と表示・装置を備え、通信制御装置により通信回線に接

統された増末装置関において、相互通信に不可 欠な増末特性を機関し、前記頭像信号処理装置 により、送信に際しては伝送すべを顕像信号、 受信に際しては、受信した頭像信号を相互通信 に不可欠な頻像信号処理を増末特性の異なる項 目に応じて行う前記顕像処理装置を特徴とする 増末装置。

(3)拡大装置、線小装置、切り出し装置、商素当りのピット数の変換装置、免速変換装置、符号化装置が並列に接続され、各装置を斜御する斜御装置とは、1 機会で、超信号処理装置とは、通信制御装置により場合と、通信制御装置において、表示技能を加速を確立、通信制御装置において、表示技能の保持を必要を指するに関係を通信に不可欠な動像信号を送り、相互通信に不可欠な動像信号、相互通信に不可欠な動像信号、相互通信に不可欠な動像信号、相互通信に不可欠な動像信号、を由記憶来特性の異なる項目に応じて行い伝送を前記端来特性の異なる項目に応じて行い伝送を対ることを特徴とする通信網管理装置、

発明の詳細な説明

#### (産業上の利用分野)

本発明は、表示装置の異なる端末へ画像伝送を 可能とする伝送方式およびその装置に関するもの である。

## (従来の技術)

従来、戦像を用いた通信手段には、テレライディング、電子品板、ファクシミリ、静止闘念の 市に関のテレビ会議などが知られている。通常の 市に関係を高速専用回線を用いて、テレライティング、電子品板では益酸情報を、ファクシミリでは 2位四像を、静止闘テレビ会議システムでは静止 頭を、動画テレビ会議では動師を送受できる。これらは高能率の符号化技術を用い大量のデータを 圧縮し高速に転送している。

# (発明が解決しようとする問題点)

しかしながら、従来の国像伝送方式は画像データが膨大な情報量を持つため、いかに効率良く符号化して高速に送るかが問題であり、伝送方式の検討の中心は帯域圧縮技術にあった。従来の伝送方式による増末では、解像度、走査方式、顕素当

増末の特性に合わせて、相互通信に不可欠な顕像 信号処理を相互の前記増末特性の異なる項目に応 じて行い伝送することを特徴とする。

りのピット数、カラー制御情報の有無、符号化方 式の違いにより画像の伝送先は同一の機種に限ら れるという欠点があった。

一方の通信手段の発達により高速のネットワーク上に多数の増末が抜続され相互に通信できるようになった。しかし、主な利用は電子メールなどの文字を利用したサービスで、軽像を利用したサービスは専用の増末間のみ行われていた。これはネットワーク上の表示装置の異なった端末間で 軽像を伝送する方式が存在しなかったためである。

そこで本苑明の目的は我示数型の異なる地末間 で画像を相互に伝送することを可能にする方式お よびその数型を提供することにある。

# (問題を解決するための手段)

上記の問題点を解決した本苑明の画像伝送方式は、相互の増末の表示袋型の特性として、解像度、走査方式、画業当りのピット飲、符号化方式を含む相互通信に不可欠な増末特性を識別し、その識別情報に従って、伝送すべき画像信号を相手

画像信号を送受するに際し、いったん前記画像書 競技器に蓄積し、相互遺信に不可欠な端末特性を 識別し、前記画像信号処理装置に相互遺信に不可 欠な画像信号処理を前記端末特性の異なる項目に 応じて行い伝送することを特徴とする。

## (作用)

本発明の回像を表示装置の構成の異なった増末 両で伝送する方式について説明する。

- 興像の伝送は第1閏(a)に示す様に

10-接続の確立

11-通信条件の協議

12-通信

18-接続の解放

の手順をよむ。異なった端末関で簡単に伝送が出来ないのは端末の投示装置の構成と符号化方式が 端末により異なるためである。そこで、延信条件 の協議に際しこれらの端末特性を識別し頭像デー タを変換して送れば解決する。

第1図(b)は雄別する具体的な項目で

20-頭面の水平解像度

21-四面の垂直解像度

22-四素当りの僧報量

23- 走查方式

24-符号化方式

25-カラー制御情報の有無

26-郵位信号処理整置の有無

などであり、婚末の画像メモリーを特徴ずける量 である。

第1団(c)が本発明における興像伝送のデータフォーマットであり、

30-質像の属性情報

31-画像データ

の形をとり、画像データのヘッダーとして画像の 特性を示す属性情報を持っている。

第1四(d)が風性情報の具体的な項目で

40-頭像データを示す射御命令

41-四像データの水平解像度

42-画像データの垂直解像度

43-四紫当りの情報量

44- 走查方式

ある。前記端末装置と前記表示装置と前記頤像入力装置と前記外部記憶装置で端末が構成され、56の通信回線を用いて相互に接続される。

第2図(b)は前記画像信号処理整置の構成図であり、画像の拡大を行う拡大装置1、縮小を行う縮小装置2、切りだしを行う切り出し装置3、ピット飲 変換を行うピット変換装置4、患査変換を行う是空変換装置5、符号化を行う符号化か装置6を並列に 接続し、全体の制御を画像処理制御装置で行う。本装置は前記表示装置53と通信制御装置56の間に 接続される。

かかる構成の増末装置において断像を伝送する 方式について説明する。

顔像の伝送は第1図(a)に示した様に

10-接続の確立

11-亚信条件の協議

12-通信

13-接続の解放

の手順を<mark>ふむ。増末袋設50は使用する</mark>通信回線の プロトコルに従って通信制御袋設52を用いて相手 45-符号化方式

46-画像データのサイズ

47ーカラー制御情報の有無

48ーカラー制御情報

これをもとに頭像処理や表示を行なうことにより、表示役置の異なった増末間でも頭像を伝送 し、表示することができる。

なお、白黒甌面の増末間にかざればカラー制御 情報は省略できる。

実際の頭像処理は増末が通信規制で行なう。また、本伝送方式は高位のプロトコルであり、下位のプロトコルは使用する通信網に従うものとする。

#### (実施例)

第2図(a)は本発明の関係伝送方式を増末例で実現した実施例の基本構成図である。50は増末装置であり、51の関係データを処理する関係信号処理投図と52の通信を制御する通信制御装置を含んでいる。53は関係を表示する表示装置であり、54は関係を入力する関係入力技習、55は外部記憶装置で

縮末との接続を確立する。次いで、通信条件の協 議に際し端末特性を識別する。

第1図(b)は畿別する具体的な項目で

20-西留の水平解像度

21-画面の垂直解像度

22-興業当りの情報量

23- 是查方式

24-符号化方式

25-カラー制御位報の有無

26-甌像信号処理袋型の存態

などであり、端末の餌像メモリーを特徴づける量 である。

次いで協議にもとずき脳像信号処理袋型51を用いて風像デーク処理を行ない、通信制御袋置を用いて相手増末に送信する。

第1関(c)が本発明における画像伝送のデータフォーマットであり、

30-極像の原性情報

31-00像データ

## 特開昭62-194775(4)

の形をとり、画像データのヘッダーとして画像の 特性を示す気性情報を持っている。

第1図(d)が興性情報の具体的な項目で

- 40-画像データを示す制御命令
- 41-国像データの水平解像度
- 42-四像データの垂直解像度
- 43-國案当りの情報品
- 44-全交方式
- 45-符号化方式
- 46-餌像データのサイズ
- 47-カラー創御情報の有無
- 48-カラー制御債組

#### である.

国像の信号処理は四條信号処理整型51を持った増 来で行なうので、伝送手順さえ導入すれば、再 なった機種でも画像を表示することができる。ま た四條信号処理装置や画像入力装置さえない端末 でも画像の利用が可能となる。

なお、白黒画面の増末間にかぎればカラー制御 情報は省略できる。

80経由でマイクロプロセッサーのバス71に接続され、内部のローカルバス81上に断像信号処理プロセッサー82、そのファームウェアを搭載するROM83、前記信号処理の作業メモリー84、そして顕像メモリー77と前記作業メモリーとの顕像メークの転送を行なう入出力制御プロセッサー85を持っている。関係信号処理プロセッサーはファームウェアに従って作業メモリー内の顧像データを高速処理する。本実施例では、単一の顕像処理プロセッサー82で拡大装置1、縮小装置2、切り出し装置3、酸業当りのピット数の変換装置4、走査変換装置5、符号化装置6を実現している。

関記構成の確求技能において価係を伝送する方式を送信傷から風に説明する。

端来教配においてマイクロプロセッサー70は増 来刻御インターフェイス72を用い使用する通信回 線のプロトコルに従って相手端末との接続を確立 する。次いで、相手端末と通信条件の協議に際し 端末特性を難算する。

第1図(b)は識別する具体的な項目で

また、本実施例は酢止甌の場合に対応している が動画にも全く同様にして対応できる。

第4図は水発明の実施例をより具体的にした端末 数型のプロック図である。

第2図の端来袋型50の割御を行なうのがマイクロプロセッサー70であり、バス71で以下の間辺袋型とインターフェイスをとる。通信制御インターフェイス72は通信回線のインターフェイスを行なう。 政像信号処理装置73は相手端末の特性に高いない。 四個像是理を行なう。 面像メモリー74は面像データを記録し、この内容が表示袋量に表示した。 75は個像人力インターフェイスで画像人の書き込みを行なう。 76はROMでマイクロプロセッサーを制御するプログラムを格納する。 77はメモリーである。 78はキーボードをはじめとする端末を構成する各種人山力装置のインターフェイスである。

第5図は前記画像信号処理装置73の具体的構成例である。画像信号処理装置はパスコントローラー

20-頭面の水平解像度

21-四面の垂直解像度

22-甌素当りの价報量

23-走查方式

24-符号化方式

25-カラー制御情報の有無

26-甌像信号処理袋置の有無

などであり、増末の顕像メモリーを特徴づける量 であり、通信に先立って相互に交換を行ない顕像 処理の手順を整える。

四像処理は相互の増末の前記増末特性に従い、 四像信号処理袋置73を用いて、

a-走变交换

b-拡大/縮小

c一切り出し

d-四案当りのピット飲変換

e-符号化

『一カラー制御情報作成 を行なう。

## 特関昭62-194775(8)

マイクロプロセッサー70の制御のもと最初に入出力制御プロセッサー85を用いて顕像メモリー74から作業メモリー84へ顕像データを転送する。マイクロプロセッサー70は第6図の顕像信号処理の流れ図に互い顕像処理を行なう。まず、送信函像が飛び越し走査(インターレース)方式だと顕像処理が複雑になる場合があるので、走査変換を行ない順次走査(ノンインターレース)方式に変換する。

次に相互の増末の解像度が異なる場合には、拡大、縮小を行ない、さらにアスペクト比が異なる場合にはアスペクト比に合わせて断像の切り出しを行う。また、西素当りのピット数が異なる場合はピット数変換を行ない、ピット数の伸縮をする。さらにカラー画像の場合カラーマップなどのカラー制御情報が必要な増末もあるので、必要なら作成する。そして、最後に受信側端末の企変なら作成する。そして、最後に受信側端末の企変ならに従って走査変換を行ない、さらに相互で共通の符号化方式が利用出来るならば、符号化を行ない画像を圧縮して画像処理を終る。

41-画像データの水平解像度 42-画像データの鑑定解像度 43-画素当りの情報量 44-走査方式 45-符号化方式 46-画像データのサイズ 47-カラー制御情報の容無 48-カラー制御情報

最後に相手増末とに接続を解放して、頭像の伝送は充了する。頭像処理は画像信号処理設置を持つ増末がおこなう。両方の増末とも可能ならば、送信値で行なう。これは通信条件の協議の時に決まる

次に受信倒婚束について説明する。

受信個の動作もほぼ送信個と同じであり、相手 増末との接続を確立し、第1団(b)に従い延信条件の 協議を行い、両像データを受信する。ここでもし 送信側の増末に画像信号処理装置がなければ第6団 の処理手順に従い受信側端末で画像処理を行な これらの画像処理は、例えば、アスペクト比が 異なる場合には小さい画面サイズに合わせて切り 出す事、画像の処理量と伝送量がより小さくなる 様に制御する。

カラー制御情報の作成はマイクロプロセッサーで行なうが、それ以外は全て顧像信号処理プロセッサーで高速に処理する。最終に入出力制御プロセッサー85で処理ずみの画像データを作業メモリー84からメモリー77へ転送して顧像信号処理を会了する。

第1図(c)が本発明における画像伝送のデータフォーマットであり。

30-画像の属性情報

31ー画像データ

の形をとり、画像データのヘッダーとして画像の 特性を示す属性情報を持っており、画像処理後の 画像データをこの形式で通信制御インターフェイ ス72を用い通信回線経由で伝送する。

第1図(d)が属性情報の具体的な項目で 40-画像データを示す制御命令

い、伝送を終了する。そして相手端末との接続を解放して、画像の伝送は完了する。また、第3図(a), (b),(c)は本発明の画像伝送方式を通信網側で実施例の基本構成図である。これは画像処理型を変更78を通信網側に持たせ塩中処理を行なうた過程機の方面であり、通信網を立ち、第3図(a)は交換網の場合であり、通信網を可なの場合であり、通信網を可なたを受けなった後述信からいはバス型、第3図(c)はループ型のネットワークに対応し通信網管理設置はネットワーク上のサーバー62になる。この場合も直接相手の増末と交通処理をしていて、世ーバーに相手のアドレスと画像データを逃り、サーバー上で画像処理装置73を用いて画像処理といったのち相手端末に送ることで実現している。

第3図(d)は前記頭像信号処理装置と頭像蓄積装置 の構成図であり、頭像の拡大を行う拡大装置1、縮 小を行う縮小装置2、切りだしを行う切り出し装置 3、ピット数変換を行うピット変換装置4、定立変

# 特開昭62-194775(6)

換を行う走査変換袋選5、符号化を行う符号化か袋 置6を持ち、四像を帯積する四像器積袋置8に並列 に接続する。蓄積袋置は通信制御袋置9を経て各端 末に接続される。また、全体の制御を晒像処理制 御袋置7で行う。本袋置は前記交換機61とサーバー 62に接続され、複数の画像処理を同時に並列に処理する。

かかる構成の通信網管理装置において個像を伝送する方式について説明する。網側で行なう場合、送信側の幅末60は交換機61やサーバー62との接続を確立したのち、個像通信用の通信条件の協議を行なわず、すぐに第7回のように個像データを

90-遺債先のアドレス

91-四像の風性情報

92-町像データ

の形で交換機61やサーバー62におくる。 超像の属性情報と顕像データは第1図(c),(d)と同じであり、 四像データのあとに相手端末のアドレスをつけた 形式である。

#### 園面の簡単な説明

第1図(a),(b),(c),(d),は本発明の個像伝送方式の伝送手順を説明する図、第2図(a),(b)は本発明を端末で実現する場合の端末袋壁の基本構成図、第3図(a),(b),(c),(d)は本発明を延信網側で実現する場合の通信網管理袋壁の基本構成図である。

第4図は暗束装置を具体的にしたプロック図である。

第5周は第3回の実施例における画像信号処理装置の一様成例である。

第6因は顕像信号処理袋置による処理の流れ図である。

第7団は網側で本発明の順像伝送方式を実現する場合の、退位側端末と通信網管理装置との伝送手順を説明する図である。

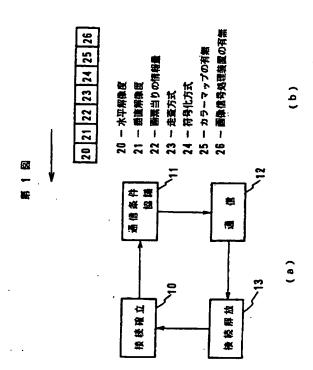
代理人 弁理士 内原

交換機やサーバーは送られてきたデータを画像 苦糖袋器8に苦税したのち、送信側の端末との接続を解放し、アドレスにもとずいて、受信側の端末との接続を確立し、前述の端末装置と同じ動作を行なう。つまり、交換機やサーバーは受信側の作を行なう。つまり、交換機やサーバーは受信側の常来と第1図(b)の形で送信側のデータにもとずき通信条件を協議し、それに従い回像信号処理装置73を用いて四像苦税袋置内の画像を回像処理したのち、第1図(c),(d)の形式で相手に送ることにより本伝送方式を実現している。

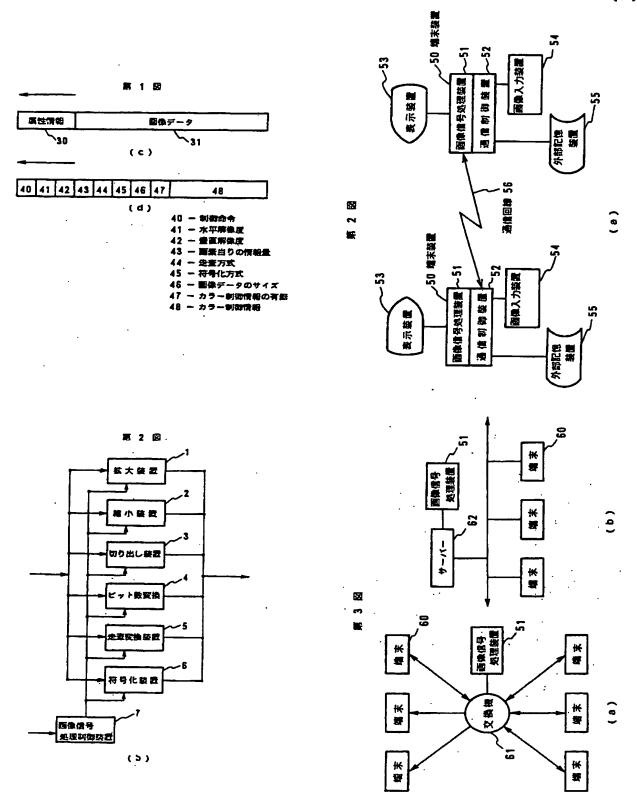
本構成では顕像信号処理装置を通信網側で持っているため、伝送手順さえ導入すれば、頭像信号 処理装置や顕像入力装置さえない端末でも画像の 利用が可能となる。

#### (発明の効果)

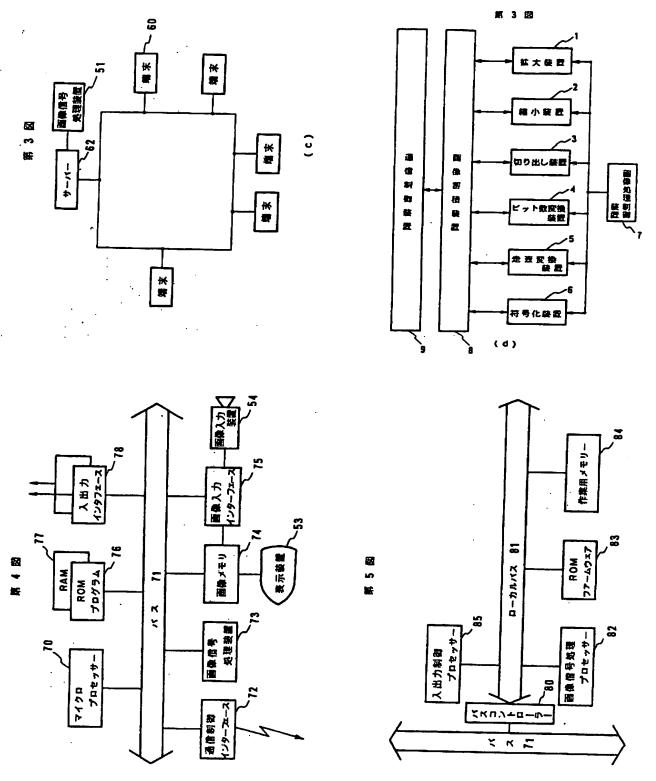
本発明の頭像伝送方式を用いれば、画像を従来の同一機種間だけでなく表示装置の構成の異なった増来へ伝送する事が可能となる。これにより広範囲に載る増来間で画像を用いた各種サービスの利用が可能となる。



# 特開昭62-194775(フ)



# 特開昭62-194775(8)



# 特開昭62-194775(9)

